

お知らせ

記者発表資料	令和元年5月24日
配布日時	14:00

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 令和元年度総会」と同時開催 ～「瀬戸内海クルーズ推進会議 合同会議」の開催～

5月31日（金）、瀬戸内海クルーズの推進強化を目的に、「瀬戸内海クルーズ推進会議 合同会議（第3回全体会議、エリア会議）」を開催いたします。

今般の会議では、瀬戸内海クルーズ推進会議として進める取組事項に関して、進捗報告を行うとともに、今後の更なる取組について、参加首長による意見交換を行います。

○昨年12月13日（木）に開催された「瀬戸内海クルーズ推進会議第1回全体会議」において、近畿・中国・四国・九州の各エリアごとにエリア会議を設置し、各エリアごとの瀬戸内海クルーズの推進を図ることが確認され、その後、各エリア会議にて、エリアごとの瀬戸内海クルーズの更なる推進に向けた取組について意見交換等を実施しました。

○5月31日（金）に「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 令和元年度総会」と同時開催する合同会議（第3回全体会議、エリア会議）では、瀬戸内海クルーズ推進会議取組報告を行うとともに、「瀬戸内海クルーズ推進アクションプランの基本方針（案）」について、参加首長による意見交換を実施します。

※ 瀬戸内海クルーズ推進会議

瀬戸内海が「エーゲ海」や「カリブ海」等に並ぶブランド力の高いクルーズの海となることを目指し、沿岸自治体、国の機関で構成する「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の下に、平成30年同会議を設置。

記

1. 日 時：令和元年5月31日（金） 17:40～18:40
2. 場 所：ANA クラウンプラザホテル宇部（別紙-1及び2参照）
（山口県宇部市相生町8-1 TEL 0836-32-1112）
3. 議事次第：開会：代表挨拶 中国経済連合会 苅田 知英会長
議事（1）瀬戸内海クルーズ推進会議の取組報告について
（2）瀬戸内海クルーズ推進アクションプランの基本方針（案）について
（3）今後の進め方（案）について など
4. 構 成 員：別紙-3参照

※ 取材について

- ・取材をご希望の場合は、5月30日（木）16時までに取材申込書にて申し込みをお願いします。なお、当日も取材を受け付けております。会場には報道関係者席を用意しておりますので、当日、受付にお知らせください。
- ・なお、会議終了後、会場において質疑対応を行います。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928(直通)(平日・昼間)
クルーズ振興・港湾物流企画室長 尾崎 靖 課長補佐 常敷 浩二
<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905(直通)(平日・昼間)
企画企画官 近藤 拓也

中国地方整備局 港湾空港部

クルーズ振興・港湾物流企画室 宛て

FAX : 082-511-3910

「瀬戸内海クルーズ推進会議 合同会議」
取材申込書

令和元年5月 日

所属名	
氏名	ふりがな
連絡先	TEL
	FAX

○会場案内図

■ 位置図



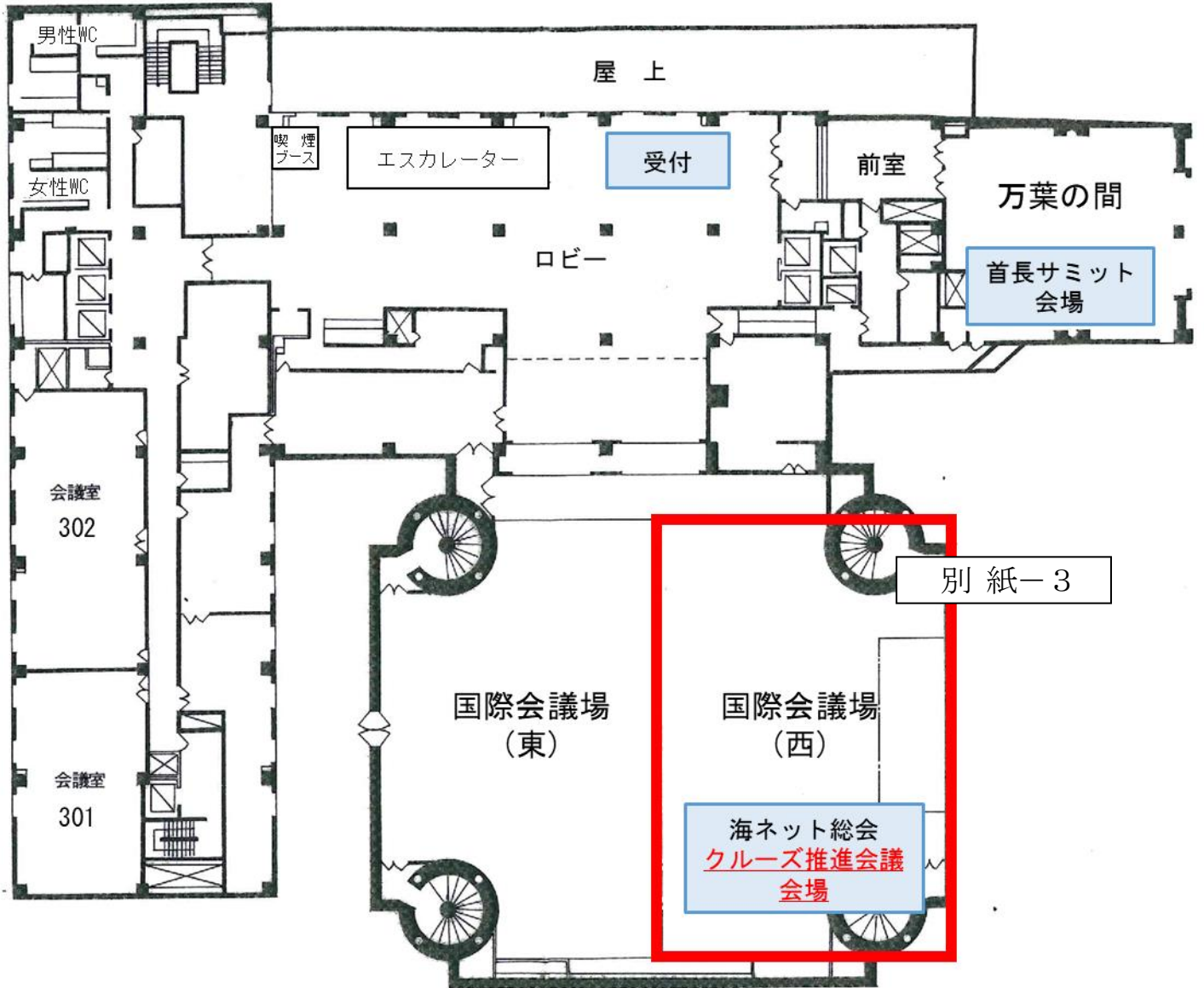
■ 会場までのアクセス

【JRをご利用の場合】

宇部線「宇部新川駅」より徒歩10分

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 総会

首長サミット、瀬戸内海クルーズ推進会議（合同会議）会場



3 F

「瀬戸内海クルーズ推進会議」 構成員名簿

	エリア	区分	構成員	
海 ネ ッ ト 会 員	近畿エリア	重要港湾以上の港湾 管理者を兼ねる地方 自治体	大阪府	★
			大阪市	★
			兵庫県	★
			神戸市	★
			和歌山県	★
		地方自治体	堺市	
			貝塚市	
			高石市	
			岬町	
			姫路市	
			明石市	
			高砂市	
			南あわじ市	
		国の機関	近畿地方整備局	★
			近畿運輸局	★
	神戸運輸監理部		★	
	中国エリア	重要港湾以上の港湾 管理者を兼ねる地方 自治体	岡山県	★
			広島県	★
			呉市	★
			山口県	★
		地方自治体	玉野市	
			瀬戸内市	
			広島市	
			竹原市	
			三原市	
			尾道市	
福山市				
東広島市				
廿日市市				
江田島市				
坂町				
国の機関	宇部市			
	防府市			
	岩国市			
		中国地方整備局	★	
		中国運輸局	★	

海 ネ ッ ト 会 員	四国エリア	重要港湾以上の港湾 管理者を兼ねる地方 自治体	徳島県	★
			香川県	★
			坂出市	★
			愛媛県	★
			今治市	★
		地方自治体	徳島市	
			小豆島町	
			松山市	
			宇和島市	
			大洲市	
			四国中央市	
		国の機関	四国地方整備局	★
			四国運輸局	★
	九州エリア	重要港湾以上の港湾 管理者を兼ねる地方 自治体	下関市	★
			福岡県	★
			北九州市	★
			大分県	★
		地方自治体	別府市	
			佐伯市	
津久見市				
国の機関		九州地方整備局	★	
		九州運輸局	★	
そ の 他		民間団体等	新居浜港務局	★
	(一社)中国経済連合会		★	
	四国経済連合会		★	
	(一社)せとうち観光推進機構		★	
	(一社)日本プロジェクト産業協議会		★	
	関西エアポート(株)			
	公益財団法人 大阪観光局			
	(一社)イーストとくしま観光推進機構			
	小豆島クルーズ船誘致の会			
	四国ツーリズム創造機構			

★は全体会議の構成員

<参考>

瀬戸内海クルーズ推進会議 合同会議
参加予定首長（15名）

(敬称略)

大阪府	高石市	さかぐち 阪口	しんろく 伸六
兵庫県	南あわじ市	もりもと 守本	かずひろ 憲弘
和歌山県	由良町	はたなか 畑中	まさお 雅央
岡山県	玉野市	くろだ 黒田	すすむ 晋
広島県	呉市	しんはら 新原	よしあけ 芳明
	三原市	てんま 天満	よしのり 祥典
	大竹市	いりやま 入山	よしろう 欣郎
山口県	宇部市	くぼた 久保田	きみこ 后子
	光市	いちかわ 市川	ひろし 熙
	周防大島町	しいき 椎木	たくみ 巧
香川県	坂出市	あや 綾	ひろし 宏
愛媛県	宇和島市	おかはら 岡原	ふみあき 文彰
福岡県	苅田町	とおだ 遠田	こういち 孝一
大分県	佐伯市	たなか 田中	としあき 利明
	津久見市	かわの 川野	ゆきお 幸男

「瀬戸内海クルーズ推進会議」の設置

設立の目的（「瀬戸内海クルーズ推進会議」規約第2条）

○我が国におけるクルーズが進展しつつある中、瀬戸内海や瀬戸内海を囲む諸港、諸地域において、瀬戸内海独自の魅力、特色を活かした独自のクルーズ振興を図り、瀬戸内海が世界的に知名度の高い「エーゲ海」や「カリブ海」等に並ぶブランド力の高いクルーズの海^(※)となることを目指し、また、その取組みを通じて当該海域・地域の振興を図るとともに世界に誇れる主要な観光圏としての地位向上を目的に設立。

※「明日の日本を支える観光ビジョンー世界が訪れたい日本へー（平成28年3月20日）」での施策集において“日本の各地をカジュアルからラグジュアリーまで幅広く対応したクルーズディスティネーションに～瀬戸内と南西諸島を日本のエーゲ海・カリブ海に～”との言及もあり。

推進会議の体制（「瀬戸内海クルーズ推進会議」規約第11条、第12条、第13条）

○瀬戸内海クルーズ推進会議は、重要港湾以上の港湾管理者を兼ねる地方自治体、民間団体、国の機関から構成される『全体会議』及び近畿・中国・四国・九州の各エリアに係る構成員から構成される『エリア会議』から構成。

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

瀬戸内海クルーズ推進会議 代表：苅田中国経済連合会会長（中国電力会長）、副代表：千葉四国経済連合会会長（四国電力会長）

全体会議 <small>総括事務局：中国地方整備局（港湾空港部） 事務局：近畿地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局（各港湾空港部）</small>	【メンバー】 ・重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体 ・広域的活動する民間団体等 ・国の機関（各地方整備局・運輸局）	【役割・取組内容】 ・瀬戸内海の全体の課題整理 ・瀬戸内海全体におけるクルーズ振興方策の検討 ・クルーズ振興に関する取組みの実行及び全体の取組の進捗管理	開催日 第1回（12月13日） 第2回（5月23日）
--	---	--	---

情報共有	提案・報告
エリア会議	
【メンバー】 ・各エリアの重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体 ・各エリアの民間団体等 ・各エリアの地方自治体 ・各エリアの国の機関（各地方整備局・運輸局）	【役割・取組内容】 ・各エリアの課題整理 ・各エリアのクルーズ振興方策の検討 ・クルーズ振興に関する取組みの実行及びエリアの取組の進捗管理
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">近畿エリア会議</div> <p>事務局：近畿地方整備局（港湾空港部）</p> <p style="background-color: yellow;">開催日：第1回（3月26日）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">中国エリア会議</div> <p>事務局：中国地方整備局（港湾空港部）</p> <p style="background-color: yellow;">開催日：第1回（2月7日） 第2回（3月25日）</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">四国エリア会議</div> <p>事務局：四国地方整備局（港湾空港部）</p> <p style="background-color: yellow;">開催日：第1回（2月25日）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">九州エリア会議</div> <p>事務局：九州地方整備局（港湾空港部）</p> <p style="background-color: yellow;">開催日：第1回（2月15日）</p>

(参考)「瀬戸内海クルーズ推進会議」として進める具体的な取り組み

○瀬戸内海クルーズ推進会議第1回全体会議において承認された5つの取組事項に基づき、具体的な取組みを実施中。

瀬戸内海クルーズ推進会議として進める取組み		具体的な進め方
【取組1】	港湾での受入環境改善	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾管理者、地方自治体が、“港湾での受入環境”や“港から観光地へのアクセス性”について取組状況・課題を、各エリア会議で報告するとともに、改善等に向けた取組事項(アクションプラン)を策定。 ・さらに、ターゲットにするクルーズ船(例:小型のプレミアム)や寄港の仕方(例:沖泊)を設定。 ・今後開催する全体会議、各エリア会議にて、アクションプランの進捗状況を報告。
【取組2】	港から観光地へのアクセス性向上	
【取組3】	瀬戸内海クルーズとしての情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年5月を目途に、「瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム」のプロトタイプを構築し、運用を開始。 ・次年度以降、港湾管理者・地方自治体・民間団体等からの情報提供を踏まえ、プラットフォームの掲載内容の充実を図る。
【取組4】	船社への誘致活動	<p>(1)外国クルーズ船社等からの問い合わせへの体制づくり 関係者の連絡網の構築や、想定される質問への回答の充実を図り、年度内「瀬戸内海クルーズ Consultation Service(仮称)」のサービス開始。</p> <p>(2)外国船社等との接点づくり 2019年4月に開催されるシートレードグローバル2019への参加し、“瀬戸内海クルーズ”として初の誘致活動を実施</p>
【取組5】	クルーズ船社の航行・寄港に関するサポート体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内は、外国船社等に対してヒアリングを通じて、外国船社等が航行や入出港において必要としている情報やサービス内容を把握し、サポート体制を構築する。 ・次年度以降、「瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム」への情報掲載。

■5月中旬～下旬:『瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム』本格運用開始予定

■4月8～11日:シートレードグローバル2019への参加



開催日程:4月9日(火)～4月11日(木)

開催場所: Miami Convention Center

各国予定:各国政府観光局・港湾局、造船・修繕ヤード・船用メーカー
クルーズ・オペレーター、ツアーオペレーター 等

我が国からの参加団体

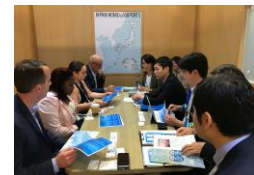
(★:瀬戸内海クルーズ推進会議、☆:中国エリア管内)
青森県、秋田県、石川県・金沢市・(一社)金沢港振興協会、岩手県、大阪市、鹿児島県、京都舞鶴港、熊本県、高知県、瀬戸内海クルーズ推進会議(事務局:中国地方整備局)、東京港、新潟県、広島県、福井県、伏木富山港、山口県、この他、国土交通省港湾局産業港湾課クルーズ振興室、観光庁、旅行会社等が参加



日本ブースの様子



鏡割の様子



船社と瀬戸内海クルーズ推進事務局の面談の様子